



会からのお知らせ

納涼会のお知らせ

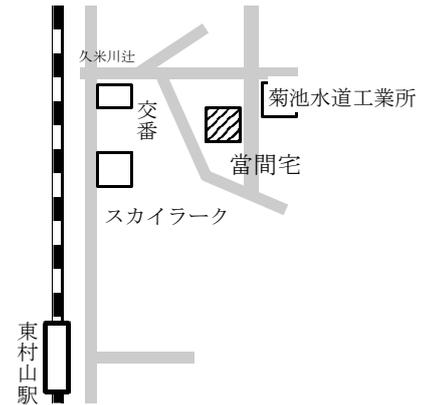


日時： 8月2日（日） 午後4時～午後7時  
（雨天でも実施します）

場所： 當間昭治宅庭園  
久米川町3-14-4  
TEL 391-6023

会費： 会員 2,000円  
          ゲスト 500円  
          会員家族 無料

稲門会の仲間を増やすチャンスです。  
ご家族でご参加ください。



府中街道久米川辻を南へ200メートル行き  
豊島酒造先の信号を右折して20メートル

○ 8月度定例役員会

日時： 8月8日（土） 13:00～14:30  
場所： ふるさと歴史館視聴覚室  
役員会の前にニュース封入作業があります。  
会員の方はどなたでも参加できますので、是非お出でください。

○ 第64回雑学講座

日時： 8月8日（土） 15:00～16:30  
場所： ふるさと歴史館視聴覚室  
講師： 清水元氏（日本紅茶協会専務理事 国分寺稲門会幹事）  
演題： 「紅茶の話あれこれ」  
国分寺稲門会の幹事としてご活躍の清水氏は、昭和38年法学部卒。  
紅茶にまつわる楽しいお話を、実演を交えてたっぷりとしていただきます。  
ご期待ください。  
最近会員の出席者が固定化しています。一般の方々にも開放していますが、  
主役は会員。是非多くの会員の皆様の出席をお待ちしています。

○ 8月度お誕生会（担当幹事 南湖 TEL 390-2287）

日時： 8月8日（土） 17:00～19:00  
場所： 割烹「丸藤」久米川駅南口から徒歩1分  
          電話042-395-5646  
会費： 3,000円

☆ 8月度お誕生の方々（敬称略 14名）  
有賀 傳・市川久美子・小林 傳・高柳忠正・辰巳慎次・丹野 寛・南湖修一・野田 数  
林 基樹・番場吉次・福田昇七・山下邦康・野中昭夫・阿部 茂

☆ 誕生月ではないがご出席希望の方もご遠慮なく担当幹事までご連絡のうえ是非ご参加ください。  
また、誕生月該当者で、上記されていない方、担当幹事までご連絡ください。

## ○ 他校友会等関連の会議

東大和・武蔵村山・羽村に稲門会設立のため意見交換会  
 6月20日(土) 小亀会長出席  
 商議員会 7月4日(土) 小亀・山下・小野  
 三多摩支部幹事会 7月10日(金) 小亀会長・風間副会長兼事務局長出席  
 来年度は東村山・東久留米・清瀬が幹事となるので、参考のため出席

## ○ 2009年稲門祭

「稲門祭」は、校友のためのお祭りです。今年は、**10月18日(日)**に開催されます。「稲門祭記念品」の販売もスタートしました。この記念品売上の半額は、『稲門祭奨学金(仮称)』として運用されます。東村山稲門会としては、これに全面的に協力したいと考えています。今月号の「ニュース」に、このパンフを同封しましたので、ご協力いただける方は、高橋正夫(309-3407)、高鷲近(394-2336)までご連絡ください。

## 《大学のニュース》

## ■ 学ぶ意欲を応援!

早稲田大学の大学院教育は、複雑化する大学ニーズに応え、より広範により深いアプローチで展開しています。卒業生はもちろんのこと、広く社会人を対象にした入試の実施、昼夜開講制など勤務に支障が無く学べる配慮をしています。また、大学の教育・研究を広く一般に開放するための「エクステンションセンター」があります。オープンカレッジをはじめ、海外短期留学プログラム、セミナーなど多彩なプログラムを展開しています。

『お問い合わせ先』・・・早稲田大学エクステンションセンター TEL: 03-3208-2248 (代)

## ■ 国内初の奨学金「めざせ!都の西北奨学金(入試前予約採用奨学金)制度」

家計の状況により早稲田大学への受験・進学を断念せざるを得ない地方の受験生に対し、出願前に奨学金を申し込んでもらい、相当と認定した場合、奨学金採用候補者とし、奨学金支給を約束するという制度です。合格・入学した学生は、奨学金採用者となることができます。本制度による奨学金額は年額40万円、大学卒業まで4年間継続して給付(返還不要)します。2010年度以降、早期に採用候補者を1000名規模に拡大する予定です。

※この奨学金制度は「早稲田大学校友会」の寄付と、主に校友が利用している「早稲田カード」の取引に本学への還元金をもとに運営されます。

■ 第44回ホームカミングデー **10月18日(日)に開催**

ホームカミングデーは卒業後一定の年数を経過した校友の方々を母校へお招きし、大学の近況に触れご歓談頂く催しです。当日の午後には校友達の祭典「稲門祭」も行われます。

本年度の招待対象者

「卒業後50年目」1960(昭和35)卒業 「卒業後45年目」1965(昭和40)卒業  
 「卒業後35年目」1975(昭和50)卒業 「卒業後25年目」1985(昭和60)卒業  
 (8月上旬にご案内状発送予定)

## 6月度「お誕生会」報告

HAPPY  
BIRTHDAY

担当幹事：南湖修一 390-2287

6月の「お誕生会」は、久米川の丸藤にて6月にお誕生日を迎えられる17名中5名のご参加があり、その他役員など合わせて17名で行なわれた。雑学講座の後ではあったが皆さんのご協力によりほぼ定刻通りに開始された。小亀会長から「6月の歳時記」、「達者でポックリ」とのレジメ付きのお話のあと、當間副会長による6月お誕生の5名の方々のご紹介と乾杯の音頭から始まり、会長によるバースデープレゼントの贈呈、該当5名の方々のスピーチと順調に会は進行した。

本日6月6日が誕生日という市川彰彦さんからは、ボランティアで外国人相手に日本語を教えていらっしゃるというお話を頂戴した。神田の生れという風間和夫さんは昭和53年から東村山にお住まいとのことであった。

田口政澄さんは知人の誘いにより中国・武漢を訪れた際の体験をご披露され、「中国は恐ろしい国」との感慨を述べられた。昭和40年から東村山にお住まいの津野慶浩さんは“志村けん”で東村山は全国に知られるところとなったようだと言われた。6月23日に77歳の喜寿を迎えられる北條進さんはシルバーのお仕事を頑張りながら「100歳を目指す」と心意気を示された。5名の方々のお祝いの記念撮影もいつもの赤荻さんによってシャッターが押された。

会長からの日本酒の差入れもあり、会は時を忘れるほどに大いに盛り上がり、井垣さんの音頭により、「東村山稲門会の歌」、「早稲田大学校歌(フルコーラス)」を全員で斉唱し、當間副会長によるご挨拶の後、19時散会となった。

## 武蔵野稲門会総会 出席報告

三宅良太（36商）

去る6月6日（土）午後、吉祥寺東急イン（ホテル）での総会、懇親会に出席して参りました。

総会では通常通りの議事がスムーズに進み、今回今までの轟常弥会長から谷内隆衛新会長に引き継ぎされ、新役員も紹介されました。続けて大学の内田勝一副総長から母校の近況についてご挨拶があり、そして国際教養学部桜井啓子教授が「イスラムから見たジャパン」という演題で約1時間講演されました。続く懇親会では来賓の祝辞、来賓の紹介、新会員6名の紹介があり、早大学生によるタンゴの演奏が披露され、和やかなうちに進み、土屋正忠代議士（41法）、邑上守正市長（56理工）や明治大学、慶応義塾大学の校友会の方々の挨拶、最後に校歌斉唱閉会致しました。約80余名の出席。

## 第63回東村山雑学講座報告



平成21年6月6日  
ふるさと歴史館視聴覚室

## 「俳句を楽しむ」

稲酔俳句会世話人  
井垣和太（昭和37年商）

## I 俳句の源流

やまと言葉、日本語は五・七、七・五あるいは七・七という五音・七音のリズムの言語で、古来から唄や文章で表されています。7世紀後半から8世紀後半にかけての皇族・貴族から庶民に至るまでの各階層の人の歌を集めた日本最古の歌集である「万葉集」を起点とする、内向的な心情を訴える「あはれ」の伝統的な和歌文芸のなかから、心情を外向的に表出する「をかし」という俳諧の流れが誕生したと言われています。

「古今和歌集」（平安時代）「新古今和歌集」（鎌倉時代初期）など17世紀頃まで、天皇の勅命による和歌撰集が八つ出されています。和歌は正に国を代表する文芸ですね。

鎌倉時代の頃から和歌は「連歌」という形で、「百韻」（100首）「歌仙」（36首）など複数の作者による連作が中心となり、さらには、上の句五・七・五と下の句七・七とを別の作者で作る（付合）という、遊技的な連作も流行りました。いろいろ厳格な取り決め（式目）の中で技を競う時代に移って来ました。そして、上流階級の優美な和歌の伝統が形式的なものになる一方で、「本連歌」に対する滑稽な「俳諧連歌」という流れが生まれてきました。

## II 俳句の誕生

「俳諧連歌」という形で、滑稽・機知・諧謔を主として発展してきたのですが、江戸元禄の世に伊賀上野の出である俳聖松尾芭蕉（1644～1669）とその門弟たちが、全く違う、表現の「軽み」のなかに、ものの本質をとらえることを追求する「蕉風」（正風）という俳句の本流を確立しました。また、この頃から、座に集った人たちで編み上げる連歌の始まりの五・七・五「発句（ほっく）」が独立して、単独で語られるようになったと言えます。和歌と流れを別にした俳句はその後与謝蕪村、小林一茶などの個性豊かな俳人たちに引き継がれて行ったのです。

明治時代になって、歌人でもあった正岡子規（1867～1903）が、「月並み俳句」（毎月集まって、句会でマンネリの連句作りをやっていたところから出た言葉）を打破し、写実を旨とした俳句の精神に戻るべく「俳句革新」に乗りだし、近代俳句の柱を打ち立てました。（時間の都合で、それ以降は省略させていただきます。）

## III 俳句の楽しみ方

俳句は自然（四季を通じて我々の生活を取り巻くもの）との対話で生まれてきます。

時候・天文・地理・人事（行事・衣・食・住）・宗教・動物・植物など、目にした物、あるいは体験した事に寄せて、そのときの感動を五・七・五のリズムに乗せて表現すれば立派な俳句の完成です。

俳句の重要な要素として、「季語」があります。季節をあらわす言葉がひとつ入っているのが原則です。1年中見かけるものがたくさんありますが、そのものの旬の季節を詠むのが俳句です。季語を集めた「歳時記」を辞書とともに常に傍に置いておきましょう。

私が俳句を楽しむ（作る・選ぶ・鑑賞する）時の信条は、対象の凝視・視野の拡大・個性の展開、の三つであることを申し添えさせていただきます。

（稲雀記）

## 同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

## ウォーキングの会

世話人 高橋正夫 TEL 309-3407  
土橋雄次 393-5708

第14回ウォーキング「野川流域の武蔵野を歩く」を下記要領で行います。  
事前の申し込みは不要ですので、当日、ご都合のつく方は奮ってご参加ください。小雨決行。

- 1) 集合日時： 7月25日(土) 午前9時30分
- 2) 集合場所： 東村山駅 国分寺方面ホーム中ほど
- 3) 行程： 国分寺—武蔵境—多摩駅(電車)—多摩霊園—北原白秋の墓—  
武蔵野公園—野川公園—はたの里—龍源寺(近藤勇の墓)—多摩駅  
(歩行時間約2時間半位)

暑い季節ですが、緑豊かな水路道を散策します。

参加費無料。但し交通費、昼食、飲み物は各自負担。雨天の場合は8時半までに TEL にて世話人宛てお問い合わせください。



## 第13回ウォーキング記 (5月30日)

「野火止用水と黒目川沿いを歩こう」を小雨の中、行ないました。一昨日から雨が続き今日も小雨模様。天気予報によるとお昼前後は雨が止むとの事なので催行することとした。

元気な女性2人の参加をえてこぬか雨降る久米川駅を傘をさして発つ。野火止用水には緋鯉がいっぱい。30分ほどして水車苑に、この頃には雨が上がり記念写真。大分疲れていそうな大ケヤキ等を見つつ30分ほど歩き用水から黒目川へ、咲き終わったシャクナゲ、満開のつつじ、大きなコココーラ工場を右に見る。・・・天台宗大園寺に。立派な大寺院、東久留米七福神巡りの一つで大楼門に恵比寿尊、福祿寿尊、寿老尊の3福神が安置されていた。

川沿いの休憩所で昼食。来合わせた老婆と話す。杖が必要のようであるが我々よりずっと若いとの事。我々は健康で幸せ。2時ごろ東久留米駅に。(土橋記)

参加者：高橋、滝川桜子、土橋、三宅夫人 (敬称略)

## 音楽同好会

世話人 高橋文子 TEL 393-2676



6月21日(日)午後2時より恩多ふれあいセンターにて例会を持ちました。参加者は江藤さん、木谷夫妻、小亀夫人、滝川桜子さん、三宅夫人の常連のみなさんに初参加の井出夫妻(ご友人2人も参加)、高橋の歌仲間も参加して、久々に13人でにぎやかに歌いました。

まず井出さんがハーモニカでアニーローリー、庭の千草、涙そうそうなど7曲を演奏。すべて一番をハーモニカ、二、三番をギター伴奏で歌いました。後半は山小舎の灯、高原列車は行く、知床旅情など、夏の歌を数曲ピアノ伴奏で歌いました。

次回は7月25日(土)恩多ふれあいセンターにて開催します。なお当日は茶話会を兼ねて8月2日の納涼会で発表する曲目の打ち合わせをします。また、リクエストの多い古賀メロディーを歌う企画もありますので、初めての方も、また楽器で参加したい方もぜひお越し下さい。準備から来られる方は1時半にお願いします。茶菓代としておひとり500円ずついただきますので、ご了承下さい。

## 俳句同好会 (稲酔会) 世話人 井垣 和太 TEL 04-2924-2934



今回の高点句には

街路樹の蔭出て少女風となる 哲哉  
白南風や引込線は草の中 糸行

の2句が選ばれました。

句会終了後「丸藤」での懇談会には8名全員が参加し、俳句談義中心に2時間半楽しい時を過ごしました。

次回45回は8月29日(土)の開催予定となります。兼題は「残暑」です。(稲雀 記)

## 囲碁同好会

世話人 福田 晃 TEL 394-0593  
高 鷲 近 394-2336



●6月の「例会」は、6月20日(土)、市民センター別館第6会議室にて、下記の9名の参加で行われました。  
＜参加者／敬称略＞ 一色・江藤・久世・佐野・鈴木・高鷲・田代・野村・福田

○「第9回 オール早稲田囲碁大会」は、6月6日(土)、日本棋院で開催されました。この大会は、1チーム5名の団体戦です。A～Fクラスに分かれ、50チームで争われました。我が東村山稲門会は、上から2番目のBクラスで頑張りましたが、結果は1勝3敗でした。貴重な1勝は、早稲田大学囲碁同好会の女性チームからあげたものです。(その写真を掲載しました。撮影／江藤さん) 我がチームは、福田・鈴木・堀田・高鷲・江藤の各氏で、全試合を通して鈴木・堀田両氏の健闘が光りました。

●次回は、夏季大会です。8月15日(土)です。12時30分開場、場所はいつもの市民センター別館を予定しています。詳細については、次号でご案内します。

## カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



6月例会を6月6日開催しました。当初5名と予定していましたが、安部さん、北条さんが初参加、賑やかな一夜でした。

各自4曲夫々の持ち歌を披露、短い時間ではありますが愉しくすごしました。気軽な会ですので多数の参加をお待ちして居ります。

参加者は、井垣さん、安部さん、石塚さん、高部さん、滝川さん、田口さん、北条さん、内藤の計8名、安部、北条のお二人は長年鍛えた咽喉を存分に披露され強力なメンバーでした。

今後の予定

7月17日(金) 17:00-20:00

新宿歌舞伎町 芽ぐみ

飲み放題、歌い放題の貸切の3時間です。

会費 ¥6,000

7月10日迄にご連絡をお願い致します。

東村山の7月の例会はありません。

8月8日 (土) カラオケランド ズー 19:10

## ゴルフ同好会

世話人 井垣 和太 TEL 04-2924-2934

第26回09年秋季東村山稲門会ゴルフコンペを、下記の予定で開催いたします。



記  
 開催月日 : 平成21年9月27日(日)  
 開催場所 : 西武園ゴルフ場  
 スタート : アウト8時35分 アウトコース5組  
 費用 : プレー費18,600円(昼食付き)  
 参加費 : 4,000円(賞品・パーティー費)

会員の月森通夫さん(S35法)のお世話で、特別料金で日曜日に地元のコースでの開催が出来ることになりました。早朝に出かける必要も交通渋滞の心配もすることなく、爽やかな秋の一日をゴルフで過ごせる幸せを満喫しましょう。常連会員の皆さんには後日詳細案内を差し上げますが、久しぶりに参加しようという方、家族や知人同伴で参加の方、どうぞ世話人までご連絡下さい。

(井垣記)

## 園芸の会

世話人 當摩 照夫・彰子 TEL 396-3033



次回の園芸の会は下記の日程で、さぎ草の開花株を持ち寄って品評会を開催します。皆さん、ふるってご参加下さい。

記  
 日時 平成21年8月18日(火) 午後3時～5時  
 場所 東村山市市民スポーツセンター、スポーツクラブ室

## テニス同好会

世話人 當間 昭治 TEL 391-6023



6月の例会は7日(日)運動公園のコートで実施。参加者は井手、市川夫妻、小菅、滝来、高橋、戸田、野村、江藤夫人、當間に當間の長女夫妻と次女が加わり13名、過去最多の人数となりました。午後1時から5時まで4時間、いつもの倍でしたが、それぞれが体力に合わせて心地良い汗を流しました。夏本番、7月と8月は下記の予定です。

記  
 日時 7月11日(土) 午前9時～午前11時  
 8月1日(土) 午前9時～午前11時  
 場所 両日とも久米川コート3

## 健康増進同好会

世話人 大西 幸夫 TEL 395-281



7月の予定は下記の通り、会場を予約しました。  
 開催日 : 7月8日(水) AM10:00～12:00  
 場所 : 東村山スポーツセンター 小会議室  
 皆様の参加をお待ちして居ります。

## 「郷土史の会」世話人変更について

休会中の郷土史の会の新たな世話人を伊藤友己さんと江藤昌明さんがお引き受け下さり、新たな活動を始めることになりました。郷土史に関心のある方でご意見・ご希望等がありましたら、伊藤さん ㉿398-1352 江藤さん ㉿391-4076までご連絡下さい。



## スペイン2000キロかけめぐりの旅

滝川正義 (S40商)

観光立国として世界遺産が各地にあり、その1つ“ラスファラス水道橋”は古代ローマ軍の土木建築レベルの高さを証明している。ここに管理人は不在で誰でも自由に160mの水道橋に登り全長210mを歩いて渡っている。まことにおおらかな国だ。そしてよく食べ飲みシエスタを楽しむスペインお婆さんの巨尻、巨乳は消費王国の象徴のようだ。早朝からバスでの大移動ツアーに参加。訪問先の印象は：

### \*オリンピック大会 candidate city - マドリッド

プラド美術館は宗教絵の展示が多い中、ゴヤの“裸”と“着衣のマハ（小娘）”は異色。当時裸体絵は厳禁であったが禁止を命令した人が依頼人とは一美しさに憧れる人間味があっけおもしろい逸話だ。ゴヤは手の指を描くのが苦手だった。—よく絵を見ると確かに……。ギター曲“我が心のアランフェス”は王室の夏の離宮でムードたっぷりの名曲。

### \*古都 - トレド

タホ川と絶壁に囲まれた古都。イスラム教、キリスト教、ユダヤ教が共存した時代があり、今7000人が400-500年前の石づくりの家で生活。老人には外出がきつい急坂の町で迷路の如く入り組んだ狭い路地裏はベローナ（伊）の雰囲気に似ている。

### \*ラ・マンチャ地方の白い風車

ドン・キホーテの舞台の地。海拔200mの丘にパン粉を挽いていた白い風車が10基。風車を巨人と思ひ込み突撃したドン・キホーテだが……。

イベリコ豚の生ハムは分厚い切り身で少々硬いが塩分のバランスが良い。パンもうまい。

### \*アンダルシア地方の白壁のMIJAS村

小高い丘の上に建つレストラン“PADRASTRO”で遠くモロッコを望む地中海を一望（ブエナビスタ！）しながらタパス（小皿料理）：タラ、イカのフライ、カラスミ、サラダ、辛口ワイン（リオハ）で昼食。全品合格—ブエノ！！スペイン語と伊語は似ている。Hは発音せず“HITACHI”イタチか？

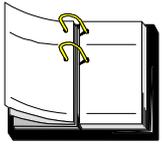
### \*グラナダのアルハンブラ宮殿

イスラム建築の最高峰と言われ10万坪の敷地に大庭園付き。ハーレムの間はアラビアンナイトが、女王の間は精緻な鍾乳洞の彫刻が涼しさを、パテオでは貴重な噴水と12頭のライオン像が宮殿を守っている。廃墟だった宮殿に90日間暮らし内部を詳細に調べて物語を書き、世にアルハンブラ宮殿を知らしめたWashington Irving（米人）に感謝。夜は洞窟レストラン“GAVENTA”でフラメンコshow（カンテ+ダンス+ギター）を楽しむ。オーレ！

### \*多様な建築様式の町 - バルセロナ

周囲には、古代ローマ様式：円形劇場、水道橋などの優れた土木技術、ムデハル様式：イスラム模様のシンメトリー、アーチと円柱、ロマネスク様式：小さな窓の教会、ゴシック様式：豪華絢爛、モデルニスモ様式：曲線美+装飾、ルネッサンス様式：幾何学的で壮大、など多様な建物群。

奇才ガウディが1883年着工した“サグラダファミリア”は今ミナレットが8本立つが更に10本建てて完成するとか。100年後でも未完成なのでは？天に向かって落下するイメージで設計するとはいかにも奇人。異教徒が共存したという貴重な歴史を持つスペインに現代の宗教に起因する地域紛争を仲介、解決する役割を期待しスペインお婆さんには有限である大切な資源のため：Simplier & Frugal Lifeを勧めたい。



今月の行事（7月）

- 8日(水) 健康増進同好会
- 11日(土) 7月度役員会  
お誕生会  
テニス同好会
- 17日(金) カラオケ同好会
- 25日(土) 音楽同好会  
ウォーキングの会

8月前半の予定

- 1日(土) テニス同好会
- 2日(日) 納涼会
- 8日(土) 8月度役員会  
雑学講座  
お誕生会  
カラオケ同好会



編集局だより

○先日、3年前の稲門会ニュース（平成18年7月8日発行・第112号）を取り出し、その頃の事を思い出してみました。

雑学講座は第47回が9月2日に企画され、演題は「笑いは百薬の長」。昭和37年文学部卒で寅さんファンクラブ会長の松井寿一氏が、ユーモアたっぷりの話で会場をおおいに沸かせてくれました。それから3年、今回の雑学は8月8日に第64回、国分寺稲門会の清水元氏に紅茶にまつわる色々な話を、実演を交えてしていただきます。雑学講座は大西初代会長が企画され、ここまで続けています。継続は力と言いますが、新しい感覚で斬新な企画を次にと引き継いでいきたいものです。18年6月度の「誕生会」は対象者14名のうち9名が出席し、当時82歳だった細淵昌さんが都立小金井工高教員時代の思い出を、10分以上にわたって語られたことを思い出しました。

○東村山東口からスポーツセンター迄の通称「さくら通り」。この中間部に「医療センター」が計画され、地元代表として5月28日に市役所で行われた公聴会に出席しました。延べ床面積が1,500坪以上で14の診療科目を揃え、午前9時から午後7時まで土・日も診療（木曜休診）、軽食コーナーや緑化にも配慮した画期的な施設との説明がありましたが、地元としても大いに関心があるところ。隣地で先行している商業施設（スーパー・飲食店）もあり、交通渋滞や事故の発生無き様、出入り口と駐車スペースの確保に十分配慮してほしいと注文しました。（當間昭治）

○次号の原稿締め切りは、7月24日（金）です。よろしくお願いたします。（中村）  
fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

白南風や引込線は草の中 高部 糸行  
縁石で歩幅定めて汗をかく 内藤 慎

若葉萌え多摩の林の息吹かな 丸本 北窓  
雨上がり河原に踊る夏の蝶

峠道眼下ひろがる夏至の雲 八木 竜湖  
はにかみし子に手土産や桜桃忌

傘を差す川に雷雨の証来る 栗島 三郎  
荒梅雨や山を生き抜く川の在り

塩焼の鮎の身こぼる夕餉かな 井垣 稻雀  
十薬もここでは主役薬草園

初蟬や生体時計巻き直す 大西 回生  
靴紐の解けしままや梅雨深む

少年の口むらさきに桑畑 大野 恵峰  
紫陽花のひと雨ごとに盛り上がり

草むらでふと目のあひし瑠璃蜥蜴 風間 和夫  
青山河トロッコ列車の声乗せて

光る砂素足に渗みる九十九里 菊田 一平  
父の日や少し多めの二合半

不機嫌な芒種の自動改札機 幸田 瑞雄  
蚊取器の電気コードのひもが邪魔

姉の通夜語る戦後や梅雨の音 小永井 哲哉  
くちなしの一挿し黄ばむ雨籠り

街路樹の蔭出て少女風になる 桶の貝つばやく梅雨の台所